

滋賀医科大学医学部 精神医学講座

Department of Psychiatry, Shiga University of Medical Science

〒520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町
TEL: 077-548-2291 FAX: 077-543-9698

1、講座の紹介

精神科は人の気持ちを扱う曖昧な側面と、医学である以上科学的・論理的な側面の二面性を持っています。滋賀医科大学精神科を基幹病院とする専門医プログラムではこの二面性の融合を強く意識しています。診断では初代教授である高橋三郎先生が翻訳に携わり導入して以来、国際的に標準的に用いられる米国精神医学会作成の DSM（精神疾患の診断・統計マニュアル）を基に診断を行っています。

本プログラムでは統合失調症や気分症から睡眠障害、児童思春期、認知症といった全ての分野にわたった症例が経験でき、リエゾン精神医療、精神科救急、地域精神医療、司法精神医療など様々な場面での精神科医療を経験できます。また下記の通り治療技術でも様々な経験ができます。それと同時に、精神療法ではより論理的な認知行動療法のみならず、基礎となる面談技術といった面から、人を理解してその人の人生に有益な関わりをするという、ある種論理だけでは解決できないような側面にも注意を払って研修できるように考えられています。病気の原因解明や治療方法の開発・改善など、より良い精神医療の発展への寄与にも関わることができます。



2、スタッフ

教授	尾関 祐二（診療科長）
特任教授	角谷 寛
准教授	藤井 久彌子（医局長・教育医長）
講師	森田 幸代（腫瘍センター）
助教	増田 史（外来医長）、松田有史、須藤智志（病棟医長）
助手	上西 祐輝（心理士）
医員（専攻医）	山崎 遙、山本 真梨乃、河原 早苗、朝倉 大志、岩井 修平、 宇野 辰悟、椿尾 太加志
検査技師	栗津 和子、鯉江 賢二、鐘ヶ江 宏美、相楽 愛子、山田 徳恵
臨床心理士	小泉 葉月

3、診療科長からのメッセージ

滋賀医科大学医学部附属病院精神科および連携施設病院では、知識と経験の獲得を目標とする精神医学の研鑽はもちろんのこと、精神科医として求められる素養を身につけることにも重点を置いて研修を行っています。精神疾患の診療に関わることは、往々にして患者さんの人生全体へと関わることとなります。そうした責務を感じつつも、一人前の精神科医として患者・家族さんにかかわる方法を身につけ、さらに「つらさ」から解放されて行く安堵感を患者・家族さんと分かち合っ精神科医師の役割・充実感を体験してもらえればと思っています。我々の仲間になって、人の持っている「つらさ」を減らして行く能力を身につけませんか。

(教授・診療科長 尾関 祐二)

4、診療内容

- ・修正型電気けいれん療法 (ECT)
- ・認知行動療法 ・高照度光療法
- ・治療抵抗性統合失調症に対するクロザピン治療
- ・医療観察法病棟 (県立精神医療センター)
- ・スーパー救急 (長浜赤十字病院) ・緩和ケア
- ・その他 終夜睡眠ポリソムノグラフ (PSG) や反復睡眠潜時検査 (MSLT) を行っており、多様な睡眠関連疾患についても十分な経験を積むことができ、日本睡眠学会専門医も取得可能です。また日本老年精神医学会の認定施設であり、同学会専門医の取得も可能です。

5、研修の概要

当講座では、後期研修 1 年目は原則として大学病院で研修を行います。後期研修 2 年目以降は、大学病院で引き続き臨床経験を積みながら、臨床研究や症例報告を学会や医学誌・科学誌上で発表できるように指導を受けます。その後、県内外の連携病院をローテーションし、薬物・アルコール依存、児童思春期、医療観察法、精神科救急など様々な症例を経験します。研修終了後は教育・研究機関や行政機関での業務、海外留学、単科病院での勤務、総合病院での勤務、開業等の多様なキャリアパスを提供します。連携施設は以下の病院があります。

- A (中毒・司法精神医学・児童思春期・地域保健) 滋賀県立精神医療センター
- B (精神科救急・コンサルテーション) 長浜赤十字病院
- C (一般精神科・地域) 水口病院 琵琶湖病院 滋賀里病院 湖南病院 滋賀八幡病院 西濃病院 不破ノ関病院 養南病院 上林記念病院、上野病院
- D (老年期) 瀬田川病院 セフィロト病院 大垣病院

研修スケジュール (例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
AM	病棟業務 思春期外来予診	外来陪席 外来診療	病棟業務 ECT	リエゾン対応	外勤
PM	カンファ 病棟回診 抄読会 医局会	外来診療	各種検査 病棟業務 リエゾン カンファ	病棟業務 集団療法 思春期 症例検討	外勤
PM5~			当直	勉強会	